
タクミンの詩集～聖夜に輝くあまたの願い～

タクミン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

タクミンの詩集〜聖夜に輝くあまたの願い〜

【Nコード】

N8933P

【作者名】

タクミン

【あらすじ】

こんにちわ、タクミンです。タイトルは気まぐれなんであんま深い意味はないですwwwでわおひまでしたらタクミンの世界を見学してってくださいな^^

友達

友達

それは財産

それは宝物

大切なもの

友達

それは楽しみ

それは幸せ

必要なもの

友達

それは馴れ合い

それは傷のなめあい

いらないもの

そういう人もいる

別離の悲しみを味わいたくないから

人は最後は独りになってしまってから

それはもったいない

もったいないよ

所詮人は独りじゃない

いろんな繋がりをもっている

繋がりがあるから生きていける

友達は代表的な繋がりだ

優しく温かい居場所となってくれる

だから

そんなもったいない考えはゴミ箱に捨てて

友達をつくろう

友達を認めよう

たとえそれがネットの友達でも

ゲームのキャラでも構わない

一番悲しいのは繋がりをいつまでも認めないで

否定して忌み嫌って避けて

誰からも必要とされなくなることだ

記憶喪失（前書き）

記憶は誰にとってもかけがえのない大切なもの。でもみなさんは何かを忘れてはいないでしょうか・・・

記憶喪失

なんだっけ

私は何か大切なことを

忘れている気がする

気づいたとき白い天井が目に入った

病院だった

でも何も思い出せない

なんだろう

すごく大事なものだったとおもうのに

目覚めたとき二人の大人が駆け寄ってきた

両親だった

でもなにか違う

忘れている大事なものは親じゃない

なんだろう なんだっけ

忘れてはいけない何か

私は記憶喪失

でもね 忘れているのは私だけじゃないんだよ

みんな私と同じ記憶喪失

何か大切なことを忘れている

大きくなっていくうちに

みんな大切な記憶をなくしているんだよ

だけど大丈夫

記憶喪失っていつかなおるんだって

ふいに思い出すみたい

私の大切な思い出

人として大事な何か

ほかにも何かあるのかもしれないけど

大丈夫

きつと全部

思い出せるよ 大切な何か

この気持ち

思い出せばいつも隣に君がいた

それが当たり前だったから

今こうしてその存在の大きさがわかる

毎日笑いあっていた

心は躍るようだった

でもその感情は

自分でもよくわからない

今思えばそれが

「恋」だったんだね

なんでわからなかったのだろう

どうして気づけなかったんだろう

気づいていれば

こんなに後悔しなかったのに

君が他の娘と笑っていた

胸は張り裂けるようだった

チクリとさす痛みは

自分でもよくわからない

今思えばそれが

「恋」だったんだね

なんて言わなかったのだろう

どうして言えなかったのだろう

言っていれば

こんなに悲しくないのに……

どうして君はいなくなってしまったの？

死神に選ばれたのはわたしだったのに

なんで守ってくれたの？

君がいなくなったら意味ないじゃん・・・

いなくなつて始めて気づくこの気持ち

なんでわからなかったのだろう

どうして言えなかったのだろう

この気持ちを君に言いたかったよ・・・

I l o v e a n d h a t e y o u (前書き)

ひさびさの投稿ですたい^^

I love and hate you

僕は君が嫌いで好きだ
大嫌いになるくらい大好きだ
愛と憎しみは表裏一体
同時に発生する感情の病

僕はこんなに愛しているのに
君は冷たくあしらってしまう
僕はこんなに慕っているのに
君は他の男と仲良くしてる
僕はこんなに…

だから僕は
苦しくなる嫉妬や
君のすべてを手に入れんとする強欲
これらの醜い情を超え
強く美しく
憎もう 愛そう

自分勝手なのはわかってる
相手にはいい迷惑なのもわかってる
だけど僕は人間だから
理想を君に押し付けてしまうんだ
ただ好きだった幸せなあの頃には
きつともう戻れない
戻れやしない

愛するほど憎しみが

憎むほど愛が

どんどんどんどん膨らんでいく

愛が憎しみに完全に変わる前に

この∞ループの恋が終わるといいな

I d o n ' t u n d e r s t a n d t h e l o v e (前書き)

書き溜めていたものをw

I d o n ' t u n d e r s t a n d t h e l o v e

僕は君に恋してる

それは確かに僕が決めたことで

嘘偽りのないキモチ

果たしてホントにそうだろうか

僕は君が好きだ

だがその好きはホントに恋なのか

明るい君が好きだ

けどあのこだって明るくて

僕はあのこも好きだ

可愛い君が好きだ

けど他にも可愛いこはたくさんいて

すれ違うたび好きだと思ってる

君に対する好きと

あのこや他のこに感じる好きの

一体なにが違うというのか

ちょっと強気な君が好きだ

けどこのこだって同じくらい強気だし

僕はこのこも好きだ

笑ってる君が好きだ

けど笑顔が素敵なこはたくさんいて

そんな笑顔をたくさん見たいと思ってる

君に対する好きと

このこや他のこに感じる好きには
はたして違いがあるのだろうか

家族だっただけ好きだと思っし
男友達だっただけ好きだと感じる
じゃあ何が違うんだろう

あ

あつた

明確な違い

僕、君と付き合いたいんだ

I love you all

君のすべてを愛してる

そんなことはありえない

嘘だ詭弁だ偽り事だ

君には愛すべきところがたくさんある

でも忌むべきところも同じくらいあるんだ

僕は君のいいところはもちろん大好きになるし
わるいところはちゃんと嫌いになる

でもいいもわるいも引つくるめて

僕は君を愛してるんだ

少しくらいの欠点は目をつぶろう
完璧な人間なんていないんだから

それに僕らには時間がある

二人でゆっくり時間をかけて

ひとつひとつなおしていけばいい

互いに互いを磨いていこう

そのうえでもう一度言おう

君を愛していると

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8933p/>

タクミンの詩集～聖夜に輝くあまの願い～

2012年1月7日13時47分発行